

プログラム名：江戸時代の人々に学ぶ、持続可能なくらし（昔のくらし）

プログラムの内容

▶昔のくらしや生活用具について解説し、現在の自分たちの生活との違いを振り返ることで、循環型の社会について学ぶ。

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

▶ゴール 4（ターゲット 4.7）：昔のくらしを学ぶことで、江戸時代の資源の再利用、エコ生活を知る。

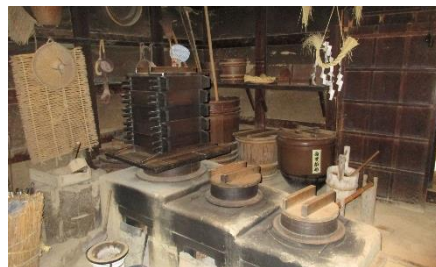
▶ゴール 11（ターゲット 11.a）：自然の素材を利用して、自分で加工し生活を豊かに。ものを捨てず再利用する生活をしてきた循環型の江戸のくらしと現代のくらしを比較し、農村や漁村などに与える影響を考え、生活を見直すきっかけとする。

▶ゴール 12（ターゲット 12.8）：昔のくらしと現在のくらしを振り返り、継続可能な生活、自然と調和がとれるくらしを考えてみる。



事前学習

- ▶昔のくらしを想像してみる。
→今の自分たちの生活との違いを想像する等
- ▶知りたいこと、聞いて見たいことをまとめる。
- ▶実物資料の貸出も可能（要相談）。
（たらいや洗濯板、行灯など）



現地学習

- ▶農家の家屋を見て、昔のくらしや生活用具について学ぶ。
- ▶資源の再利用・有効活用。
- ▶地元の資源を活用して自分たちで作るくらしを知る。



事後学習

- ▶昔の生活と現在の生活を振り返る。
- ▶環境保全、資源の再利用について考える。
- ▶実物資料の貸出も可能（要相談）。
※事前学習でも利用可

プログラムのポイント！



- ・復元された家屋の中で、使われている生活道具や生活様式にふれることができます。
- ・学芸員による解説を聞くことができます。（目的にあわせた解説も可能）

受入人数	1回 35名	対象	小・中・高校生
受入可能時期（休業日）	通年 火曜～金曜	1人/1回 当たり料金	無料
受入可能時間	①9:30～②10:20～③11:10～ ④13:00～⑤13:50～	備考 （雨天対応等）	雨天実施 資料の貸出も行います。 事前にご相談下さい。
体験時間	1回 30～40分		

▶問い合わせ

名称：千葉県立房総のむら
 担当：事業課 広報・普及グループ
 TEL：0476-95-3333
 営業時間：午前9時～午後4時30分
 休館日：月曜日（祝・休日の場合は翌日）